



平成17年3月期 第1四半期業績の概況（連結）

平成16年7月29日

会社名 株式会社リロ・ホールディング (コード番号：8876 登録銘柄)

(URL <http://www.relo.jp/>)

代表者 役職名 代表取締役社長
氏名 齊藤 尚史

問い合わせ先 責任者役職名 取締役CFO

氏名 土屋 真

(Tel : (03) 5312 - 8704)

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

最近連結会計年度からの会計処理方法における変更の有無： 無

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無： 無

会計処理方法における簡便な方法の採用の有無： 有

法人税等の計上において、簡便な方法により算出をしております。

公認会計士または監査法人による関与の有無： 無

当第1四半期業績の開示にあたっては、速報性、適時性を重視し、監査法人による監査は受けておらず、一部には正規の決算手続を経ていない数値が含まれております。

その他

福利厚生代行サービス事業セグメントにおいて、一部の費用項目を、一括計上から期間按分計上に変更をしております。年間を通じた決算には影響がないものの、前年同期との比較においては94百万円の営業利益増加要因となっております。

2. 平成17年3月期第1四半期業績の概況（平成16年4月1日 ~ 平成16年6月30日）

(1) 連結業績の概況

(百万円未満切捨)

	営業収益	営業利益	経常利益	四半期(当期)純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
平成17年3月期第1四半期	9,686 (36.1)	349 (48.0)	355 (-)	101 (-)
平成16年3月期第1四半期	7,115 (-)	236 (-)	- (-)	- (-)
(参考) 平成16年3月期通期	32,738	1,833	1,853	960

	1株当たり四半期当期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期当期純利益
	円 銭	円 銭
平成17年3月期第1四半期	13 59	13 58
(参考) 平成16年3月期通期	127 99	127 93

営業収益、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

(2) 連結業績の進捗状況

(単位：百万円)

	平成 17 年 3 月期 第 1 四半期	今 期 計 画		(参考) 平成 16 年 3 月期 第 1 四半期
	金額	金額	増減	金額
営 業 収 益	9,686	8,155	+ 1,531	7,115
営 業 利 益	349	268	+ 81	236

[連結業績の進捗状況に関する定性的情報等]

当社グループにおける当第 1 四半期業績は、各事業セグメントとも概ね順調に推移し、連結業績では、営業収益 9,686 百万円 (計画対比 + 1,531 百万円)、営業利益 349 百万円 (同 + 81 百万円) と、ともに計画を上回る結果となりました。

(3) セグメント情報 (事業種別セグメント情報)

リロケーション事業

(単位：百万円)

	平成 17 年 3 月期 第 1 四半期	今 期 計 画		(参考) 平成 16 年 3 月期 第 1 四半期
	金額	金額	増減	金額
営 業 収 益	7,463 (97)	6,000	+ 1,463	4,963
営 業 利 益	209	192	+ 17	257

() 内の数値は、営業収益の内、セグメント間の内部取引によるものを示しております。

[リロケーション事業セグメント 定性的情報等]

管理物件数の増加と、計画に比して管理物件の家賃が高めに推移したことなどが寄与し、営業収益を押し上げております。また、営業利益においてはリロケーション、リライアンス等のバックオフィス業務の体制整備等に注力したことから、前年同期を下回る結果となっておりますが、計画に対しては順調な進捗となっており、営業収益 7,463 百万円 (計画対比 + 1,463 百万円)、営業利益 209 百万円 (同 + 17 百万円) となりました。

福利厚生代行サービス事業

(単位：百万円)

	平成 17 年 3 月期 第 1 四半期	今 期 計 画		(参考) 平成 16 年 3 月期 第 1 四半期
	金額	金額	増減	金額
営 業 収 益	1,816 (1)	1,700	+ 116	1,577
営 業 利 益	324	246	+ 78	126

() 内の数値は、営業収益の内、セグメント間の内部取引によるものを示しております。

[福利厚生代行サービス事業セグメント 定性的情報等]

「福利厚生倶楽部」事業の会員数が堅調に推移するとともに、「クラブオフ」事業での前倒し受注などにより、営業収益 1,816 百万円 (計画対比 + 116 百万円)、営業利益 324 百万円 (同 + 78 百万円) となりました。

尚、既出の通り、当第 1 四半期営業利益は、一部の費用項目を、一括計上から期間按分計上に変更をしたことにより、前年同期との比較において、94 百万円の増加要因が含まれております。

その他の事業

(単位：百万円)

	平成 17 年 3 月期 第 1 四半期	今 期 計 画		(参考) 平成 16 年 3 月期 第 1 四半期
	金額	金額	増減	金額
営 業 収 益	656 (151)	600	+ 56	740
営 業 利 益	32	30	+ 2	27

() 内の数値は、営業収益の内、セグメント間の内部取引によるものを示しております。

[その他の事業セグメント 定性的情報等]

会員制リゾート事業が比較的好調に推移したことにより、当セグメントでの営業利益は、やや計画を上回る着地となっております。結果としては、営業収益 656 百万円(計画対比 +56 百万円)、営業利益 32 百万円(同 +2 百万円)となりました。

[参考]

平成 17 年 3 月期の連結業績予想 (平成 16 年 4 月 1 日 ~ 平成 17 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	営業収益	経常利益	当期利益
中間期	16,600	520	100
通 期	36,300	2,040	780

* 1 株当たり予想当期純利益 (通期) 103 円 96 銭

[業績予想に関する定性的情報等]

当第 1 四半期は計画を上回る業績で推移致しましたが、通期予想に対する第 1 四半期の寄与する割合は低いことから、年間での業績予想に変更はありません。

また、上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は経済情勢等様々な不確定要因によりこれらの予想数値と異なる場合があります。

〔添付資料〕

1. 要約連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当連結第1四半期 〔自平成16年4月1日〕 〔至平成16年6月30日〕	(参考) 平成16年3月期
	金 額	金 額
営業収益	9,686	32,738
1.リノベーション事業	7,366	24,352
2.福利厚生代行サービス事業収入	1,815	6,197
3.その他の事業収入	505	2,188
営業費用	8,292	27,324
営業総利益	1,394	5,414
販売費及び一般管理費	1,044	3,580
営業利益	349	1,833
営業外収益	18	75
営業外費用	12	55
経常利益	355	1,853
特別利益	0	27
特別損失	10	55
税引等調整前四半期(当期)純利益	345	1,825
税金費用	243	864
四半期(当期)純利益	101	960